

## 第3章 新庁舎の基本的な考え方について

### 1 新庁舎づくりの基本理念

新しい庁舎は、現本庁舎が抱える課題を十分に踏まえた上で、市民が利用しやすく、機能性に富み、高水準のサービスが受けられる、人にやさしい庁舎である必要があり、庁舎づくりに当たっては、開かれたプロセスを通して、計画から各ステージにおいて市民が関わりあい、建設していかねばなりません。

これからの庁舎には、省エネ・創エネ<sup>\*</sup>（本編18ページ参照）に配慮した環境にやさしく経済性に優れたものであるとともに、災害に強く市民に安心感を与える建物であることが求められます。

また、中心市街地の核となる施設として役割を果たしていくためには、市民利用の機能を兼ね備えた市民に親しまれる「緑と花と彫刻のまち」を体現した美しい建物である必要があります。

これらのことを踏まえ、市民協働のまちづくりの拠点となる新庁舎は、市民と力を合わせて建設し、建設後も市民とともに歩いていくためにも、新庁舎づくりの基本理念を次のとおりとします。

### 【 新庁舎づくりの基本理念 】

**つながって、みんなで作る  
無駄がなく美しい  
市民自治の拠点**

※ この基本理念は、市民委員会の「提言書」にある基本目標をそのまま基本理念としました。



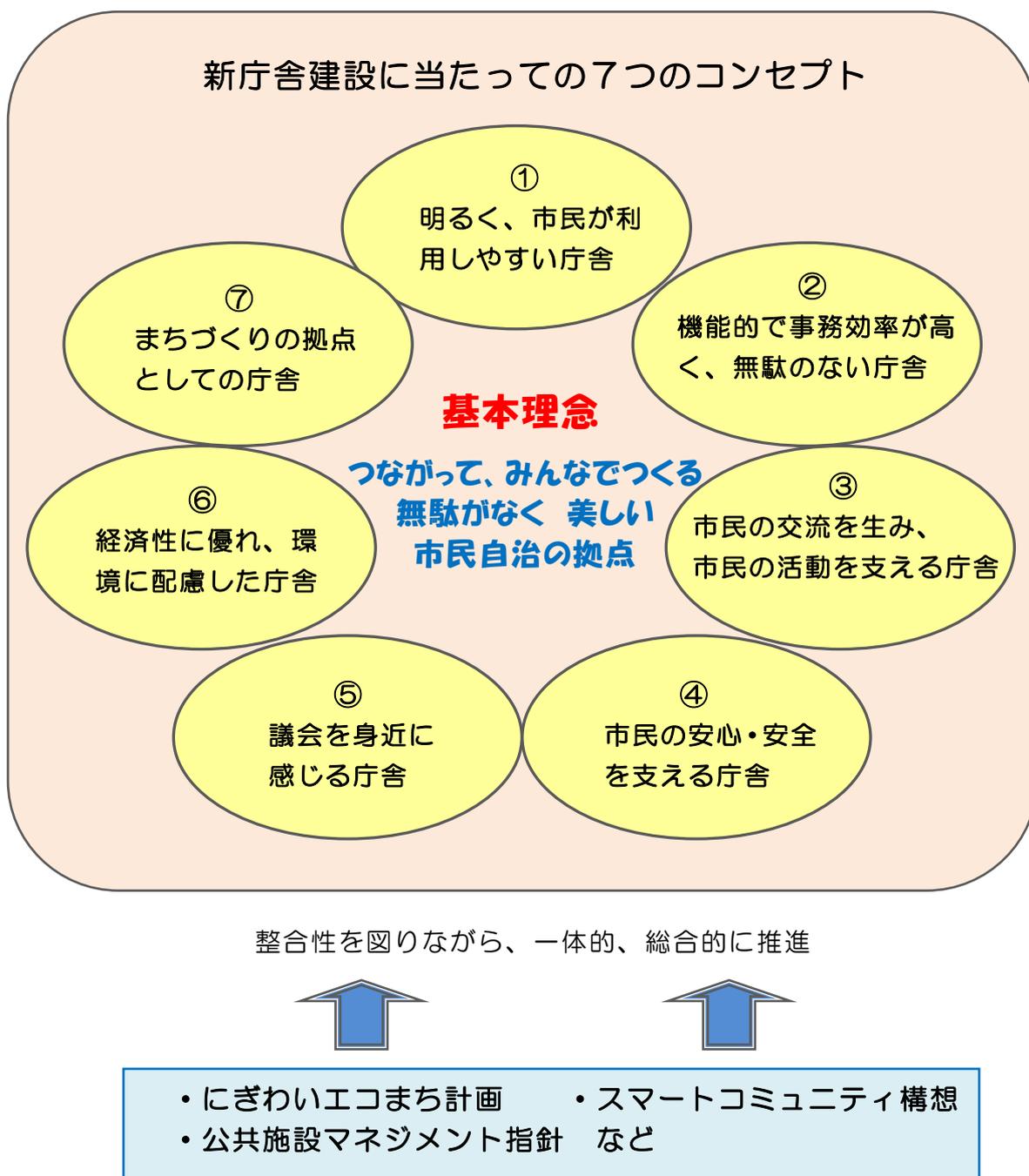
作品名：石の華

作家：藤本 イサム

## 2 新庁舎の基本的機能

新庁舎の建設に当たっては、新庁舎づくりの基本理念の実現を図るため、現庁舎が抱える課題や議会からの報告書、市民委員会からの提言書等を踏まえ、次の7つのコンセプトを基本的な機能とします。

なお、7つのコンセプトの実現に向けては、「にぎわいエコまち計画」や「スマートコミュニティ構想」、「公共施設マネジメント指針」等と整合性を図りながら、一体的、総合的に推進していく必要があります。



### 3 7つのコンセプト

#### ① 明るく、市民が利用しやすい庁舎

##### ユニバーサルデザイン

- ・バリアフリー化が施され、高齢者や障害者、子ども連れの保護者など全ての来庁者が快適に利用できる、人にやさしい庁舎  
（例）多機能トイレ、手すり、車椅子の移動スペース、補聴システム、低層階エスカレーター、公衆無線LANなど
- ・フロア全体が見渡せ、明るく目的地の場所がすぐに分かる庁舎  
（例）オープンフロア、案内サイン、誘導サイン、音声誘導など

##### ワンストップサービス

- ・窓口関係部署を集約し、短時間で効率的に手続きができる市民の利便性に配慮した庁舎  
（例）市民利用の多い部署の集約、総合窓口化など

##### 来庁者のアクセス

- ・公共交通機関の利用によるアクセスがしやすい庁舎
- ・自家用車、自転車、車椅子等の様々な移動手段へ対応できる、人の動線を意識した庁舎  
（例）駐車場・駐輪場等の配置及び収容台数、電気自動車用充電設備の設置など

##### 他の公共施設等の併設

- ・他の公共施設や民間施設の併設により、来庁者の利便性に考慮した庁舎  
（例）税務署、金融機関、郵便局、コンビニエンスストアなど

※（例）は、各コンセプトをイメージしやすいように、具体的な施設名や設備等を例示したものです。

## ② 機能的で事務効率が高く、無駄のない庁舎

### 機能的な職場環境

- ・コンパクトで職員が働きやすい効率的な執務空間を備え、行政需要の変更にも柔軟に対応できる構造を備えた庁舎  
 (例) 可動式間仕切り、フリーアクセスフロア※、関連部署の同一空間配置など

### 情報化への対応

- ・情報通信環境やセキュリティ対策が整備された庁舎  
 (例) 入退庁者管理システム、電算システムの上層階化、執務室等のセキュリティ化など

※「フリーアクセスフロア」とは、電源や各種ケーブルの配線、空調設備等の機器が床下等に収納され、床上にはケーブルなどが存在しない状態となる。

## ③ 市民の交流を生み、市民の活動を支える庁舎

### 市民協働スペース

- ・市民協働のまちづくりを進め、市民が気軽に利用できる活動・交流の場を備えた庁舎  
 (例) 共用会議室、地域活動の掲示スペースなど

### 市民交流スペース

- ・まちづくりや文化活動などの市民の活動を支援し、交流を促進させるスペースを設置した庁舎  
 (例) 市民ホール、市民ギャラリーなど

#### ④ 市民の安心・安全を支える庁舎

##### 防災危機管理の拠点

- ・市民の安心・安全を守る拠点施設として、また、災害対策活動の本部としての役割を十分に果たせる庁舎  
（例）防災危機管理システム、災害用備蓄倉庫など
- ・大規模な災害や事故を受けても重要業務が中断しない、中断したとしても可能な限り短時間で再開できる庁舎

##### 耐震性の確保

- ・市民と職員が安心して利用できる耐震性を有し、安全性を備えた庁舎  
（例）免震構造又は制震構造の導入、電気・機械室の上層階化、自家発電機能など

#### ⑤ 議会を身近に感じる庁舎

##### 市民に開かれた議会

- ・議員の議会活動が市民にとって分かりやすい庁舎  
（例）傍聴しやすい傍聴席、玄関ホール等での議会中継など
- ・議会運営に支障がない範囲において、議会施設を市民が利用できる庁舎  
（例）多目的用途が可能な議場、議会図書室の開放など

##### 議員活動のための環境整備

- ・議会の立法機能を支援し、政策形成機能や執行機関に対する監視機能を発揮できる庁舎  
（例）ICT機器が整備された議会図書室、多目的ホール、委員会室など



作品名：ロンド

作家：黒川晃彦

⑥ 経済性に優れ、環境に配慮した庁舎

経済性への配慮

- ・建設費用を抑えたシンプルな構造とし、維持管理や建物の保全に配慮した経済的な庁舎  
 (例) 建設計画やランニングコストの検証、庁舎の長寿命化など

環境への配慮

- ・省エネ・創エネ・蓄エネ※により、エネルギーの最適化を図ることで、コスト削減と併せ環境負荷軽減にも対応したスマートビルの機能を持つ庁舎 (BEMS※の導入、CEMS※の検討)  
 (例) 太陽光発電、コージェネレーション※、地中熱、蓄電池、緑化、雨水利用など

※「省エネ・創エネ・蓄エネ」とは、使用する電力量を削減する「省エネ」に加え、燃料電池や太陽電池等でエネルギーを創る「創エネ」、必要以上に創ったエネルギーを蓄電池で蓄える「蓄エネ」を組み合わせたシステム

※「BEMS」とは、Building Energy Management Systemの略で、建物に設置された設備や機器の運転データ・エネルギー使用量データを蓄積・解析し、効率よく制御することでエネルギー消費量の最適化・低減を図るシステム

※「CEMS」とは、Community Energy Management Systemの略で、太陽光発電や風力発電を含む発電所での電力供給量と地域内での電力需要の管理を行うエネルギー管理システム

※「コージェネレーション」とは、ディーゼルエンジンやガスエンジン、ガスタービンなどを用いて自家発電を行い、その過程で発生する排熱を利用し、温水や冷水を作り空調や給湯を行うシステム

## ⑦ まちづくりの拠点としての庁舎

### 中心市街地の活性化

- 賑わいと回遊性のある中心市街地の核となる庁舎  
（例）レストラン・カフェ・小売店などの商業施設の併設、うべ元気ブランド販売コーナー、イベントが開催できる庁舎広場、ランドマーク化など

### 広報・シティセールス機能

- 市政やイベント等に関する最新の情報を適切に発信できる庁舎  
（例）市政情報案内所、電光掲示板など
- 最新の観光案内など、本市をアピールできるスペースを備えた庁舎  
（例）観光案内所、特産品PRコーナーなど

### 景観との調和

- 「緑と花と彫刻のまち」を体現した美しさを持ち、安らぎを実感できる公園と一体化した庁舎  
（例）樹木や花壇の整備、彫刻の配置、真締川公園との一体的な利用



第25回UBEビエンナーレ全景